

第1回 ミドルステージ研修

令和6年8月8日(木)

講演 『私の良さを活かして人を「つなぐ」：ミドルステージの私だからできること』

講師 帝塚山大学 教授 松浦 真理氏

1. 講演

ミドルリーダーとは …… もともとはビジネス場面での中間管理職の立場をあらわしたものの。階層型の組織において中間部を支える存在。

保育現場で期待されるミドルリーダーとは…園全体の管理運営に携わる園長や副園長と、実践面での関わりをする一般保育者との間をつなぐと同時に、地域や保護者と連携する主体としての経験値の高い保育者。

2. グループ討議

討議テーマ：保育現場におけるミドルリーダーとは、どのような人か。ミドルリーダーとしての役割。

- ・園長・副園長等の管理職と現場をつなぐ橋渡しをする
- ・若手職員の見本となり、人材育成を行う
- ・同僚の声に耳を傾け、相談できる存在であり、良き理解者となる
- ・職員が気持ちよく働ける雰囲気づくりを行う
- ・園行事や保育内容について、現場の中心となり、周りの意見を引き出し、まとめる
- ・園全体の運営に見通しをもち、自身の経験を活かしてアドバイスしたり、まとめるりする



3. 講演

ミドルリーダーの役割を6つに分類（保育教諭養成課程研究会による）

調整ー

つなぐ、声をかける、会議の進行、トラブルを見つけ対応する

連携ー

保護者、地域、地域の子育て支援の拠点として 等

省察ー

自身のこと、職員のことを振り返り、次に活かす 等

子ども理解・援助ー

経験を活かしてアドバイスする、自身が実践することを通して、後輩に見てもらう 等

園運営の中核ー

のびのびと自分を出せる雰囲気づくり、ひっぱっていく立場周りを巻き込む 等

後輩指導ー

今までの経験を活かす、若手職員のサポーターになる 等

★いろいろな役割がある中で、どれもこれも一人で背負うことは大変であり、職員が得意なことを活かし、業務を分担して、みんなで力を合わせていけばいい。



自分の得意とするミドルリーダーとしての役割は何か、ふりかえてみる。

4. グループ討議

討議テーマ:ミドルリーダーとして、今までにしてきた中で、自身の得意なこと・上手かったこと

○今までにしてきた中で、得意なこと

- ・子どもの興味・関心に目を向け、子どもを理解し、保育を楽しむこと。
- ・子どもが夢中になっていることを、同じ目線になって楽しみ、遊び方を知らせる。
- ・自身の経験を活かし、多様な考えを受け入れることで、保護者・同僚・若手職員の思いに寄り添う。
- ・悩み等を聞き、思いを引き出しながら、問題解決に向けて共に話し合い、解決策を見つける。

○今までしてきた中で、うまくいったこと

- ・自身が手本となり、保育を見せることで、後輩に保育の楽しさを気付かせることができた。
- ・周りの様子を把握しながら、聞くことを大切にし、コミュニケーションを心がけることで、いろいろな人が話しかけてくれる。
- ・学ぶ姿勢を忘れず、経験年数や価値観にとらわれないようにし、若手職員からも吸収する。
- ・保育内容や保護者対応等、悩んでいることに対し、自身の経験を踏まえながら、1ポイントアドバイスや提案をする。

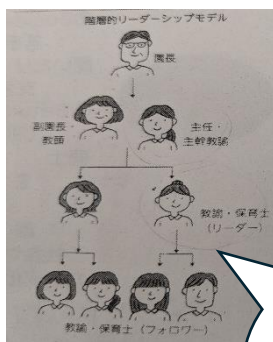
★誰もが、得意なこと(光の部分)と苦手なこと(影の部分)がある。この両方を把握したうえで、今する必要があること、今はする必要がないことを選別しながら、業務にあたっていけばいい。



5. 総評

これからのミドルリーダーとして...

階層的リーダーシップモデル



お互いを支え合い、それぞれが良い刺激を受けられるような関係となるように...

組織の強化方法として、リーダーシップを組織構築のために活用する

分散型・協働的リーダーシップモデル



自分らしさがリーダーシップそのものであり、組織とそれを取り巻く人々のコミュニティ全体を豊かにするもの

ミドルリーダーこそが組織の「心臓」!!

大切な4つのB

- ① Before (昔からの) 園の伝統や大切にしている理念を受け継ぎ
- ② Besides (傍らで) 若手や同僚間の悩みを聞いたり支えたりして
- ③ Between (間に入って) 年代を超え同僚同士を繋ぎ
- ④ Beyond (越える) 園の中だけでなく、社会や園外の動きも察知して、新たな変化をつくる

★風通しの良い職場の中で、フォローし合いながら苦手なことを補い合い、できることを率先して行っていく、お互いを支え合いながら、保育に活かしていく。

